

緑町第二自治会だより 平成 30 年度第 15 号

I 新年会を開催しました

1月19日(土) 11時より自治会館で新年会を開催しました。天候にも恵まれ21人の方々にお集まりいただきました。



会長は挨拶で、今年の干支は己亥。目標に向かってどんどん前進すると落とし穴に落ちることがある。そのため何事も慎重に進めることが大事な年だと云われている。そこで、猪突猛進にならないよう注意深く事業に取り組んでいくと述べました。

続いて緑町あすか会の鈴木会長のご発声で、みなさん一緒にお神酒で乾杯し宴に入りました。

今年は余興を用意しませんでしたので、どなたもゆっくりと近況報告を交わされていました。最後に恒例の抽選会を行い、大いに盛り上がりました。

II 新春お楽しみ会を開催しました

2月20日(水) 午前11時から自治会館で新春お楽しみ会が開かれました。

今回は、鈴木会長から江高連の研修の場でも出された「詐欺による被害」と「高齢者クラブの会員減少の問題」について説明がありました。

はじめに、「特殊詐欺」であるが、最近「消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」というハガキが多数の方々に配達されているが、全くの詐欺であるので無視すること。どうしても不安ならば江別消費者協会(消費生活センター)などに相談すると良い。また電話勧誘による訪問買い取りや健康食品の勧誘などはトラブルの元となるので関わらないように。

次に、「会員増強の現状と今後の取り組みについて」は、平成11年度の会員総数が5,637人であったものが30年度は3,703人と2,000人近く減少した。そのため会員増強対策の一つとして元町地区センターで「高齢者ふれ

あいサロン」を開催し、多人数での活動や少人数での活動を通して高齢者クラブに興味を持ち参加しようとする動機付けの場としている。

また、緑町あすか会関係では、9月6日に発生した北海道胆振東部地震の被災者支援のため、北海道老人クラブ連合会に1万円を義援金としてお渡しした（市内34クラブ総額230,324円）。次に、来年度の事業として日帰りバスツアー「ユンニの湯」を予定している。ゆったりとお湯に浸かり、美味しい料理に舌鼓を打ちましようかと報告された。

この後、皆で会食し、レクリエーションを楽しみ、充実した3時間をととても愉快地に過ごしました。

Ⅲ 自治会排雪について

2月15日（金）午前8時過ぎから自治会排雪作業が始まりました。

2月8日頃から観測史上最強の寒波が北海道全域に襲来し、気温がマイナス10度以下を連日記録するばかりでなく、3日に2日は強い吹雪で街中でも前が全然見えなくなるホワイトアウトが発生しました。来る日も来る日も、朝も晩も雪かきに追われ、積雪もみるみる高くなりました。そんな中での排雪作業です。責任者にお尋ねしますと「どこもかしこも作業が夜中までかかり、皆疲れているが、今日中に終わらせないといけない。」とおっしゃっていました。



左は昨年撮影したもの。右は同じ場所で撮影したもの。玄関とロータリーの位置を比べると寄せられた雪の量が段違いであることがお分かりになるでしょう。あまりに大量に寄せられた雪のためロータリーがなかなか前進できず、作業は午後7時30分頃までかかりました。

皆さん、排雪作業にご協力いただき、ありがとうございました。

あすか会による資源回収日は3月12日（火）です。ご協力をお願いします。